

## V7.01 で更新される主な機能

### バージョンアップに関してのご注意

バージョンアップする場合は、必ずバージョンアップガイド「4-575-113-05(1)」に従って操作を行ってください。

### Last Clip Delete 機能に対応

アサインブルスイッチに Last Clip Delete 機能を割り当てることにより、直前に記録したクリップを削除できるようになりました。

#### 関連メニュー

Operation > Assignable Switch

### 拡大フォーカス (Focus Mag) モードの表示機能改善

誤操作を防ぐため、拡大フォーカス (Focus Mag) の視認性を改善しました。

### サムネイル画面からのファイル転送指示に対応

本機のサムネイル画面からオリジナルファイル、またはプロキシファイルの転送選択ができるようになりました。

#### 関連メニュー

Thumbnail > Transfer Clip  
Thumbnail > Transfer Clip(Proxy)

### 証明書更新メニュー対応

Web メニューで Network Client Mode の証明書がインポートできるようになりました。  
また、Web メニューの Upload Settings で Sony Ci 証明書もインポートできるようになりました。  
証明書の詳細は、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

#### 関連メニュー

- Web メニューの System Settings > Network Client Mode Settings
- Web メニューの Upload Settings の「Sony Ci」設定用画面

### パスワードセキュリティの強化

セキュリティ強化のため、Basic 認証に使用するパスワードに 8 文字以上の英数字をそれぞれ 1 文字以上使用することを必須としました。

#### 関連メニュー

Maintenance > Basic Authentication > Password

#### ご注意

本機のファームウェアを V7.0 未満から V7.0 以降にバージョンアップすると、パスワード設定はリセットされます。この場合はパスワードを再設定してください。

### その他

記録、および起動に関する動作の安定性が向上しました。

## V6.12 で更新される主な機能

- Proxy File の Auto Upload 時、転送エラー File より新規追加 File を優先的に転送するようにしました。
- 記録動作の安定性を向上しました。

## V6.11 で更新される主な機能

本機の日付設定がうるう日 (2月29日) に設定されていると記録が出来ない症状を改善致しました。

## V6.10 で更新される主な機能

### XQD メモリーカード QD-G120F、QD-G240F に対応

本機で使用可能な XQD メモリーカードに QD-G120F、QD-G240F を追加しました。XQD メモリーカードを使用する際には XQD ExpressCard アダプター (QDA-EX1) が必要です。

## V6.00 で更新される主な機能

### ATW (自動追尾ホワイトバランス) の Pure モードに対応

従来 of Natural モードに比べ、青みや赤みの色を残さずに、より原色に近づけるようにホワイトバランスを調整する Pure モードに対応しました。

#### 関連メニュー

Operation > White Setting > ATW Mode  
Natural : 自然な雰囲気になるように調整  
Pure : より原色に近づけるように調整

### Slow & Quick Motion のアサインブルスイッチ登録

メニューの Slow & Quick Motion の Off/On 設定をアサインブルスイッチで切り替えることが可能になりました。  
アサインブルスイッチの 1、3、4、5、および COLOR TEMP ボタンに登録可能です。

#### 関連メニュー

Operation > Rec Function > Slow & Quick Motion  
Operation > Assignable SW

### プランニングメタデータの SDXC カードからのロードに対応

別売りのメディアアダプター MEAD-SD02 を使用して SDXC カードからのプランニングメタデータのロードが可能になりました。

#### 関連メニュー

Operation > Planning Metadata

#### ご注意

SD/SDHC カードは使用できません。

### ネットワーククライアントモード時の機能改善

ソニーの QoS 技術を用いた高品質なストリーミングの性能を改善しました。

また、Connection Control Manager を使用して以下の操作が可能になりました。

プロキシ記録する / しないの設定

カメラリモートコントロール、および ALL ファイルの運用

#### 関連メニュー

Maintenance > Network Client Mode > Preset1/2/3  
NCM with Proxy  
Camera Control  
Camera Setting

## V5.20 で更新される主な機能

### SDHC メモリーカード (FAT) に対応

別売のメディアアダプター MEAD-SD02 で使用できる SD カードに、SDXC メモリーカードだけではなく SDHC メモリーカードも加わりました。

#### ご注意

- SDHC メモリーカードはファイルシステムが FAT で、記録フォーマットが MPEG HD420(HQ/SP) のときにのみ対応しています。
- FAT ファイルシステムは SDHC メモリーカードのみに対応しています。

### Wi-Fi ステーションへの接続設定対応

Wireless LAN アクセスポイント (Wi-Fi ステーション) の接続設定を Web メニューからだけでなく、本機のメニューから設定ができるようになりました。

#### 関連メニュー

Maintenance > Network > Wi-Fi Station Detail Settings

### ネットワーククライアントモードの複数登録

ネットワーククライアントモードの設定を 3 つまで登録できるようになりました。

#### 関連メニュー

Maintenance > Network Client Mode > Preset 1 ~ Preset 3

### Proxy Recording Mode のアサインブルスイッチ登録

メニューの Operation > Proxy Recording Mode > Setting 設定をアサインブルスイッチで切り替えることが可能になりました。

ネットワーククライアントモード時のプロキシ記録のオン・オフをメニュー操作することなく切り替えできます。

### デジタルワイヤレスレシーバーとの連携機能の強化

本機と連携してソニー製デジタルワイヤレスレシーバー DWR-S01D/S02D/S02DN のパワーセーブ制御が可能になりました。

- アサインブルスイッチに「TX Power Save」機能を割り当てできます。
- 本機の電源スイッチと連動してデジタルワイヤレスレシーバーのパワーセーブ制御を行います。
- パワーセーブ時のデジタルワイヤレスレシーバーの状態をビューファインダーや LCD モニターに表示できます。

#### 関連メニュー

Maintenance > WRR Setting > TX Power Save

Maintenance > WRR Setting > TX-Cam Power Sync

#### ご注意

本機能に対応するソニー製デジタルワイヤレスレシーバーのファームウェアバージョンは次のとおりです。

DWR-S01D V1.16 以降、S02D V1.07 以降、S02DN V1.12 以降

## V5.10 で更新される主な機能

### 記録中のフォーマット

記録中でも、もう一方のカードスロットに装着した SxS メモリーカードのフォーマットが可能になりました。

#### ご注意

- 再生中およびサムネイル画面表示中には、フォーマットはできません。
- Slow & Quick Motion が On でかつ Frame Rate が 72FPS 以上の場合は、フォーマットはできません。
- フォーマット中に、もう一方の SxS メモリーカードへの記録操作は受け付けません。

### XDCAM air 対応

本機と XDCAM air を接続することで、高品質なストリーミングを行えるようになりました。

#### ご注意

XDCAM air は、ソニーが提供するクラウドサービスです。このサービスをご利用になるには、別途契約が必要です。一部対応していない地域がありますので、サービス対象地域について XDCAM air のサイトをご確認ください。

<https://www.xdcam-air.com>

また、XDCAM air のプライバシーポリシーについては、以下のサイトを参照してください。

– 利用規約

[https://www.xdcam-air.com/site/tos\\_eu.html](https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html)

– XDCAM air のプライバシーポリシー

<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

– プロフェッショナル ID のプライバシーポリシー

<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>

詳しくは、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

### プランニングメタデータファイルの転送

「Auto upload (Proxy)」を設定時、プランニングメタデータファイルの転送ができるようになりました。

### Web メニューについて

Web メニュー画面の左上の  をタップして表示されるメニュー項目に「OSS Information」を追加しました。

## V5.00 で更新される主な機能

### 外部ストレージメディアへのクリップのコピー

外部機器接続端子に接続したストレージメディアや USB メディアに、SxS メモリーカードに記録されたクリップをコピーすることが可能になりました。

### 本線で記録したオリジナルファイルの部分転送

「Content Browser Mobile」アプリケーションのバージョン 2.2 以降を使用すると、本機で記録したオリジナルファイルにイン点/アウト点を指定し、切り出した部分を転送できるようになりました。

## プロキシ記録フォーマットの追加

プロキシ記録で設定できるフォーマットに HD/SD Auto を追加しました。

## ストリーミングフォーマットの追加

低ビットレートのフォーマットとして 0.3Mbps、0.2Mbps を追加しました。

## User メニュー項目を追加

User メニューに File メニューの一部が登録できるようになりました。

## V4.00 で更新される主な機能

### 起動性能・操作応答性の改善

以下の起動性能・操作応答性を改善しました。

- 起動してから、キー操作を受け付けるまでの時間を短縮しました。
- 起動してから、ビューファインダー/LCD モニターに画が出力されるまでの時間を短縮しました。
- 電源スイッチを OFF してからシャットダウンが完了するまでの時間を短縮しました。
- サムネイルモードにおける応答性を改善しました。
- 連続した記録操作の応答性を改善しました。

### UDF ファイルシステムに対応

MPEG HD、IMX、DVCAM フォーマット記録にて UDF ファイルシステムに対応し、従来機との互換性を向上させました。

### XAVC Intra 1080 59.94P/50P フォーマット記録に対応

システム周波数 59.94、および 50 選択時に、XAVC-I 1080P が選択可能となりました。

### 外部入力された 1080 59.94P/50P 信号の記録に対応

SDI IN 端子に入力された 1080 59.94P/50P(Level A/B) 信号の記録が可能となりました。

### 外部入力信号のリターン表示機能

SDI IN 端子に入力された HD SDI 信号をビューファインダー/LCD モニターにリターン信号として表示することが可能になりました。

### インターバルレック対応フォーマット追加

XAVC-L50/30/25 1080i 選択時でもインターバルレックが可能となりました。

### プロキシデータ記録の機能改善

以下の機能改善を行いました。

- アサインナブルスイッチに Proxy Rec Start/Stop 機能を割り当てることにより、プロキシデータ記録開始・停止を単独で制御することが可能となりました。
- SDXC カードへのプロキシデータ記録に対応しました。
- Network Client Mode 時もプロキシデータ記録が可能となりました。

### Auto Upload 機能

アサインナブルスイッチ、またはメニュー操作により、プロキシデータの Auto Upload が可能となりました。

## デジタルワイヤレスレシーバー DWR-S02D 接続時の機能拡張

通信している送信機の RF Power Level 設定、およびパワーセーブが可能となりました。

### 有線 LAN 詳細設定

USB-RJ45 アダプター（別売）と LAN ケーブルを使用してネットワークに接続する場合の詳細設定が可能となりました。

### User Menu Lock 機能

User Menu のロック機能に対応しました。

### ペイント機能の改善

以下のペイント機能の改善を行いました。

- 初期設定での DCC 性能（DCC Delay Time）を従来機に合わせました。
- Low Key Saturation の補正効果を従来機に合わせました。

### ご注意

すでに設定を変更してご使用されている場合は、再設定が必要になります。

### Counter/Duration 表示設定の初期設定の修正

初期設定を従来機に合わせて Counter としました。

### XQD メモリーカードの新 G シリーズ、M シリーズに対応

本機で使用可能な XQD メモリーカードに、新 G シリーズ（QD-G32E、QD-G64E、QD-G128E）、および M シリーズ（QD-M32A、QD-M64A、QD-M128A）を追加しました。

### ご注意

XQD メモリーカードのご使用には、別売の XQD ExpressCard アダプター（QDA-EX1）が必要です。

## V3.00 で更新される主な機能

### インターバルレック機能に対応

間欠的に映像を記録するインターバルレック機能に対応しました（XAVC-I、XAVC-L、MPEG HD422 フォーマット選択時で、XAVC-L50/30/25 1080i を除く）。

### シームレスな連続再生

同一の記録フォーマットであるクリップのシームレスな連続再生に対応しました（SStP、ProRes、DNxHD® フォーマットを除く）。

### クリップコピー機能

特定のクリップ、または一括でクリップを別の SxS メモリーカードにコピーすることが可能となりました。

### プロキシデータ記録機能の改善

以下の機能改善を行いました。

- プロキシ記録フォーマットに 1280x720 (6Mbps) を追加
- 先頭フレームの静止画を同時に記録
- GPS 機能有効時の測位情報の記録
- プロキシ記録中にビューファインダー画面に「Proxy Rec」を表示

– SD カード残量の警告を表示

## ネットワーク対応

ワイヤレス LAN アダプター CBK-WA02 (別売) およびネットワークアダプター CBK-NA1 (別売) に対応しました。

※ 取り付けにはアタッチメント金具 (サービスパーツ番号: A-2092-367-A) が必要となります。詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

## ファイル転送

SD カードに記録したプロキシファイルや SxS メモリーカードのオリジナルファイルを従来の Wi-Fi や LAN ケーブル接続でのアクセスポイント経由の転送に加え、3G/4G/LTE 回線で接続したインターネット上のサーバーへ転送することが可能となりました。さらに、「Content Browser Mobile」アプリケーションのバージョン 2.0 以降を使用して、プロキシファイルの部分転送を可能としました。

## ストリーミング伝送

ネットワーククライアントモード有効時に、本機とソニー製ネットワーク RX ステーション PWS-100RX1 (別売) の Connection Control Manager を接続して使用することで、ソニー独自の QoS 制御を使用した高品質なストリーミングが可能になりました。

## ALL ファイルの保存と呼び出し

All ファイルの Load、および Save 対象にリファレンスファイルを追加しました。

## ビューファインダー機能の改善

HDVF 接続時の VF Detail 設定を見直し、操作性を従来機同等に改善しました。さらに、ビューファインダー画面上に表示されるキャラクターとマーカーの輝度レベルを 5 段階で切り換えられるようにしました。

※ メニュー、ステータス、サムネイル表示時、輝度レベル設定は、LCD モニター、および VIDEO OUT 端子、SDI OUT1/2 端子の各出力にも反映されます。

## バッテリー残量表示

Operation メニューの Display On/Off > Battery Remain の設定値を、Auto、Voltage、Off に変更しました。Voltage 選択時は、バッテリー種別に関わらず、入力電圧値を表示することができます。

## UTILITY SD カードアイコン表示

Operation メニューの Display On/Off 項目に SD Card (Utility) を追加し、UTILITY SD カードのアイコン表示を On/Off できるようにしました。

## 記録状態表示の改善

以下の機能改善を行いました。

- 記録中のスロット自動切り換え時に、従来は警告メッセージが表示されましたが、SxS メモリーカードの記録可能時間が 60 秒以下になった時点で、ビューファインダー画面上の該当メディアスロットの残量表示が点滅する仕様に変更しました。
- 同時記録操作中の状態表示を「● Sml Rec」および「Sml Stby」に変更し、記録中の残量警告を Slot A、Slot B で独立して表示できるようにしました。

## ピクチャーキャッシュ機能有効時の出力設定について

記録フォーマットが XAVC-L で 1080/59.94P および 50P 選択時にピクチャーキャッシュ機能を有効にすると SDI 出力の Level-A とその他の出力フォーマットの相互切り換えは行えません。また、Level-A を選択した場合に SDI Out Output の On/Off 切り換えが行えない場合があります。変更する場合は、一度ピクチャーキャッシュ機能を無効にしてから、変更操作を行ってください。

## V2.04 で更新される主な機能

### オートアイリス動作の改善

一部のレンズのオートアイリス動作 (光学エクステンダー使用時) を改善しました。

### 3G SDI 出力タイムコードの不具合を修正

埋め込み VITC 制御の誤りに起因する一部のレコーダーで発生するタイムコード入力時の歩進不具合を修正しました。

### ホワイトバランスメモリー動作仕様の変更

電氣的 CC フィルター切り換え機能をアサインブルスイッチに割り当て、かつ Filter White Memory 設定が有効な場合には、電氣的 CC フィルター設定ごとに独立したホワイトバランスの設定値を記憶できるように修正しました。

### アサインブルスイッチ／ボタンの設定保持動作の変更

ASSIGN.1/3 スイッチ、ASSIGNABLE 4/5 スイッチ、および COLOR TEMP. ボタンの設定切り換え時の内部保持動作を POWER OFF 時から、即時反映 (切り換え後 2 秒以内) に変更しました。

## ピクチャーキャッシュ機能有効時の出力設定について

ピクチャーキャッシュ機能有効時には次の出力設定の操作が行えません。

- Output Format の変更
  - SDI Out Output の On/Off 切り換え
  - HDMI Output の On/Off 切り換え
- 変更する場合は、一度ピクチャーキャッシュ機能を無効にしてから、変更操作を行ってください。

## V2.03 で更新される主な機能

### Apple ProRes および Avid DNxHD® に対応

専用オプションの PXWK-501 および PXWK-502 (別売) を適用することで、Apple ProRes 422 (HQ)、Apple ProRes 422、Avid DNxHD220x、Avid DNxHD 145 での記録再生が可能になりました。

### MPEG IMX に対応

MPEG IMX 50Mbps での記録再生が可能になりました。

### デジタルエクステンダー機能に対応

最大 4 倍のデジタルエクステンダー機能に対応しました。電氣的な拡大処理のため、レンズのエクステンダーで発生する感度の落ち込み (F ドロップ) を防ぎます。

## ピクチャーキャッシュ機能に対応

内蔵の大容量メモリーに、映像／音声データを常時数秒間（最大 15 秒間）分蓄えておくことにより、記録を開始したとき、その数秒前からの映像を記録することが可能になりました。

## 外部入力記録の SD 対応

SDI IN 端子から SD 信号の記録が可能となりました。

## カウンター表示に対応

LCD モニターのタイムデータ表示部に記録・再生経過時間としてカウンター値を表示することが可能になりました。また、表示されている値をリセットすることも可能です。

## COLOR TEMP.（色温度切り換え）ボタンに対応

撮影するときの色温度をボタン操作でダイレクトに変更可能となりました。

## アサインブルスイッチ／ボタンに Slot Select 機能の割り当てを追加

ASSIGN. 1/3 スイッチ、ASSIGNABLE 4/5 スイッチ、および COLOR TEMP. ボタンに Slot Select 機能を割り当てることが可能となりました。

## ユーザーファイルの保存と呼び出しに対応

カスタマイズした User メニューの設定項目と設定データの保存と呼び出しに対応しました。

User メニューをカスタマイズした状態にセットアップすることが可能となります。

## リファレンスファイルの保存に対応

シーンファイルの基準設定（File ID が Standard）の設定値の保存に対応しました。

## プリセット値の保存と復帰に対応

Store All Preset を実行すると現在の設定値が「プリセット値」として保存されます。Store All Preset を実行しておく、設定変更を行ったり、シーンファイルを呼び出ししたりした後に、All Preset や個別操作により、プリセット値を復活させることが可能となります。

## メニュー／ステータス操作レスポンスの改善

メニューの表示、カーソル移動、階層移動、およびステータス画面の表示、ページ切り換えの操作レスポンスを改善しました。

## Power Off 時のタイムコード連続精度の向上

Power Off 時のタイムコード連続精度を改善しました。

## Auto Black Shading 補正精度の改善

メニューの Maintenance > Auto Shading > Auto Black Shading の補正アルゴリズムを改善し、よりフラットに補正できるようになりました。

## ABB 収束精度の改善

ABB 制御アルゴリズムの見直しにより、R/G/B 信号間のレベル差を改善しました。

## XAVC-L25 フォーマットビットレート制御

XAVC-Long 25Mbps フォーマットのビットレート制御の誤りを修正し、適切なビットレート値になるようにしました。

## 推奨メディアへの対応

使用メディアの種類により表示される非推奨メディア使用のメッセージを非表示にしました。推奨メディアの詳細は、営業窓口にお問い合わせください。